

公開ワークショップ

「未来社会と学術：若手研究者がさらに若い世代と考える」

【報告書】

2022. 7. 1

<主催>

日本学術会議若手アカデミー



1. 開催概要

1. 会議の名称

公開ワークショップ「未来社会と学術：若手研究者がさらに若い世代と考える」

2. 主催団体

日本学術会議若手アカデミー、日本学術会議環境学委員 会環境科学分科会、九州大学

3. 共催

公益財団法人 日本学術協力財団 原田弘二基金

4. 会期

2022年6月14日（火）～16日（木）【3日間】

※GYA年次総会兼学会期間中の開催

5. 会場

九州大学伊都キャンパス（椎木講堂）

〒819-0395 福岡市西区元岡744

※一部オンライン開催（新型コロナウイルス感染拡大の状況によって開催方法を変更）

6. 開催趣旨

若手アカデミーでは、真に「若手の代表」として活動するには地域に住まう若手との対話・交流が欠かせないとの視点から、23期より「地方における若手科学者を中心とした学術活動の活性化」事業を実施している。これまで、SDGs、シチズンサイエンス、大学国際化、地域社会と科学の関係、などに関する議論を当事者たる地域において行い、日本学術会議からの提言の発出や「学術の動向」における特集記事などにつなげることで社会への発信を行ってきた。今回、新しい試みとして、これまで対象としてきた若手研究者に加え、さらに若い世代である高校生・大学生・大学院生などをより積極的に巻き込んで行くことを狙って、未来社会をテーマにした対話や議論を行う一連のワークショップを実施した。これを通じ、社会課題や地球規模課題を考える際の「複眼的視点の重要性」や「学術の多様性の重要性」を参加者に実感する機会を提供し、参加者が広い視野で学ぶ意欲をかきたてることを狙い、同時に、学術への信頼感の醸成、および将来的な学術の活性化につなげることを目的とした。

7. 参加者数

のべ173名

2. プログラム

1. プログラム

日時	プログラム	会場
6月14日(火) 10:20-15:45	「高校生・大学生・次世代研究者による英語ディベートワークショップ」	椎木講堂 講義室
6月15日(水) 12:30-16:00	サイドイベント 「若手世代で考える30年後の社会：SF プロトタイピングワークショップ」	オンラインのみ
6月16日(木) 13:00-16:00	サイドイベント 「若手研究者と次世代研究者の対話」	椎木講堂 大会議室

2. 各プログラムの参加者数

日付	プログラム セッション名	参加者数（名）	
		オンライン	会場
6月14日(火)	英語ディベートワークショップ	7	53
6月15日(水)	SFプロトタイピングワークショップ	40	
6月16日(木)	若手研究者と次世代研究者の対話	2	20

3. 各プログラムの詳細

1. 「高校生・大学生・次世代研究者による英語ディベートワークショップ」

日時：6月14日(火) 10:20-15:45

会場：九州大学伊都キャンパス椎木講堂・講義室

内容：最近話題となることが多いトピックとして「環境」「ヴァーチャル・リアリティ (VR)」「医療」「国際関係」「オープンサイエンス」「SDGs」を取り上げ、高校生・大学生・大学院生により、すぐに決着のつかない生のトピックについて英語ディベートを行った。

高校生8名(福岡、神戸の高校生)、九州大学の学生20名が参加し、午前は5グループに分かれてディベートを行い、午後は午前の活躍に基づき選ばれた6名によりディベートを行い、優勝チームとBest Speakerを表彰した。また、参加者全員にCertificateを配布した。

ゲストスピーカー：

環境：森 章 (東京大学先端科学技術研究センター 教授)

VR：南澤 孝太 (慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授)

医療：狩野 光伸 (岡山大学副理事・学術研究院ヘルスシステム統合科学学域 教授)

国際政治：中野 涼子 (金沢大学人間社会学域 教授)

オープンサイエンス：Anders Karlsson (Vice President, Global Strategic Networks, Asia Pacific, Elsevier)

SDGs：Jinhee Kim (Korean Educational Development Institute)

総括コメント：中野 美香 (福岡工業大学教養力育成センター 教授)

閉会挨拶：河野 俊行 (九州大学理事・副学長)

<開催の様子>



2. 「若手世代で考える30年後の社会：SFプロトタイピングワークショップ」

日時：6月15日(水) 12:30-16:00

会場：オンライン

内容：九州大学ほか全国の次世代研究者挑戦的研究プログラムの博士課程大学院生を中心に、特定の技術などが進化した未来社会を想像しつつ、学術と密接に関わる「30年後の大学」についてのストーリーをともに考え、現代にも通じる課題や社会や学術の新たな方向性を見出すことを目的とするワークショップを行った。

全体コーディネーター：宮本 道人

<開催の様子>



3. 各プログラムの詳細

3. 「若手研究者と次世代研究者の対話」

日時：6月16日(木) 13:00-16:00

会場：九州大学伊都キャンパス椎木講堂・大会議室

内容：よりよい未来を意図的に創造していくためには、分野の壁を越えたつながりだけでなく、時間を越えた世代間のつながりも重要であることを次世代研究者たちに認識してもらうための議論を行った。特に、今回の国際会議の大会テーマでもある頭（理性）で理解することと心（感性）で理解することのバランスを意識し、「理性」や「科学」で伝えることの限界や、その限界を補完する表現手段としての「芸術」の可能性に焦点を当て、5名程度のグループにわかれて議論を行った。

話題提供者：

栗山 齊（九州大学大学院芸術工学研究院未来共生デザイン部門准教授） [科学と芸術]

安田 仁奈（東京大学大学院農学生命科学研究科教授） [環境と科学・社会・芸術]

和田 元（同志社大学理工学部電気工学科教授） [原子核工学と社会]

八並 廉 九州大学大学院法学研究院国際関係法学部門准教授 [文化遺産とメタバース]

<開催の様子>



4. 登壇者リスト

▼ サイドイベント -高校生・大学生・次世代研究者による英語ディベートワークショップ-

スピーカー	環境 森 章	東京大学先端科学技術研究センター 教授
	VR 南澤 孝太	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 教授
	医療 狩野 光伸	岡山大学副理事・学術研究院ヘルスシステム統合科学学域 教授
	国際政治 中野 涼子	金沢大学人間社会学域 教授
	オープンサイエンス Anders Karlsson	Vice President, Global Strategic Networks, Asia Pacific, Elsevier
	SDGs Jinhee Kim	Korean Educational Development Institute
総括コメント	中野 美香	福岡工業大学教養力育成センター 教授
	まとめ 河野 俊行	九州大学 理事・副学長

▼ サイドイベント -若手世代で考える30年後の社会：SFプロトタイプینگワークショップ-

全体コーディネーター	宮本 道人	東京大学大学院 新領域創成科学研究科 客員連携研究員、筑波大学システム情報系研究員
------------	-------	---

▼ サイドイベント -若手研究者と次世代研究者の対話-

Speakers	栗山 斉	九州大学大学院芸術工学研究院未来共生デザイン部門 准教授
	安田 仁奈	東京大学大学院農学生命科学研究科教授
	和田 元	同志社大学理工学部電気工学科教授
	八並 廉	九州大学大学院法学研究院国際関係法学部門准教授